

2004・4・30

ウクライナ内務省

ウクライナチェルノブイリ委員会 キエフ ウクライナ

to: 高嶋情報工学研究所

ウクライナ内務省チェルノブイリ委員会は、1986年に起きたチェルノブイリ原子力発電所の事故の患者・被害者を救済する為の実際的な方法として貴研究所が開発された複合発酵技術を導入する為の調査と実質的な協議のためにウクライナを訪問されるあなたとあなたのスタッフを大いなる喜びを持ってご招待いたします。

御存知のとおり、チェルノブイリ事故は、1986年4月26日に起こり、最悪の原子力事故で、30人以上の人々が直ちに死亡し、13万6000人以上の人々が、災害後の高レベル放射能の影響による様々な疾患に苦しんでおります。

我々は、高嶋情報工学研究所が開発した新しい処理救済方法が、チェルノブイリ事故後の高レベル放射能の影響を受けている患者達の救済に多大な貢献をすること、また、ウクライナに事故のすべての重大な結果を克服する機会を与えてくれることを確信しております。

あなたの訪問のスケジュールとして5月24日～6月1日の期間をご提案いたします。

あなたのご配慮に感謝し、あなたにまもなくお会いできることを待ち遠しく思っております。

アナトリー バジレンコ

副委員長

ウクライナチェルノブイリ委員会

ウクライナ内務省